

ゴア® エクスcluder® スtentグラフト

GORE® EXCLUDER®

AAA Endoprosthesis

ゴア® エクスcluder® IBE

GORE® EXCLUDER®

Iliac Branch Endoprosthesis

ゴア® エクスcluder®

コンフォーマブル AAA ステントグラフト

アクティブコントロールシステム

GORE® EXCLUDER®

Conformable AAA Endoprosthesis

with ACTIVE CONTROL System

ゴア® エクスcluder® インフラリーナルデバイス

AN EVAR PORTFOLIO
YOU CAN COUNT ON



Together, improving life



ゴア® エクスクルーダー®
ステントグラフト

DURABILITY you can count on

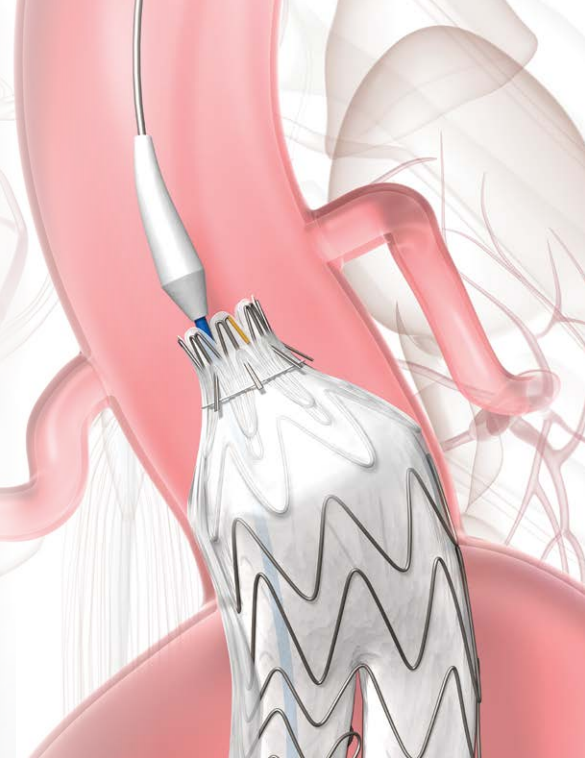
グローバルでの発売開始から
25年以上を経たロングセラー。
最も研究されたEVARデバイス*であり、
腎動脈下での最適なシーリングが得られるように
デザインされています。

> 留置動画を見る



適切なシーリングを得るための
リポジショニングが可能。

中極端の再拘束により
アンカーを血管壁から離し、
留置位置の再調整を可能にすることで、
正確な留置に貢献。



3,274 例を対象とした5年フォローアップデータ†

94.7% デバイスに関連する
リインターベンションの回避率

0.1% マイグレーション

1.6% Type Iエンドリーク

0.2% Type IIIエンドリーク

0.7% 脚閉塞

0.4% 腎合併症‡

* clinicaltrials.govに掲載されている、現在入手可能なステントグラフトに関する企業出資の臨床試験およびレジストリに基づく（2024年11月時点）。

† GREATレジストリ(Global Registry for Endovascular Aortic Treatment)に登録されたリアルワールドの患者集団による結果 (n = 3,274)。術中から試験期間終了までの全事象発生率を計算するために、フォローアップ期間の長さにかかわらず、事象が発生した可能性のあるすべての被験者を含めた。結果に関するデータについて、GREATでは実施医療機関から報告された重篤な有害事象のみを収集しています。

‡ 腎合併症の発生率に含まれる症例: 腎合併症のある被験者はMedDRAコードで同定された。MedDRAコードで腎合併症を有すると同定された被験者のうち、手技後75日以内に重篤な有害事象が発生し、かつデバイスまたは手技に関連していると実施医療機関 / 医師により報告された被験者のみを腎合併症の発生率に含めています。

ゴア® エクスクルーダー®

コンフォーマブル AAAステントグラフト
アクティブコントロールシステム

CONTROL you can count on

アンギュレーションコントロール機能を
備えた唯一*のEVARデバイスで、
必要とされる場面で
的確なコンフォーマビリティを
発揮できるようデザインされています。

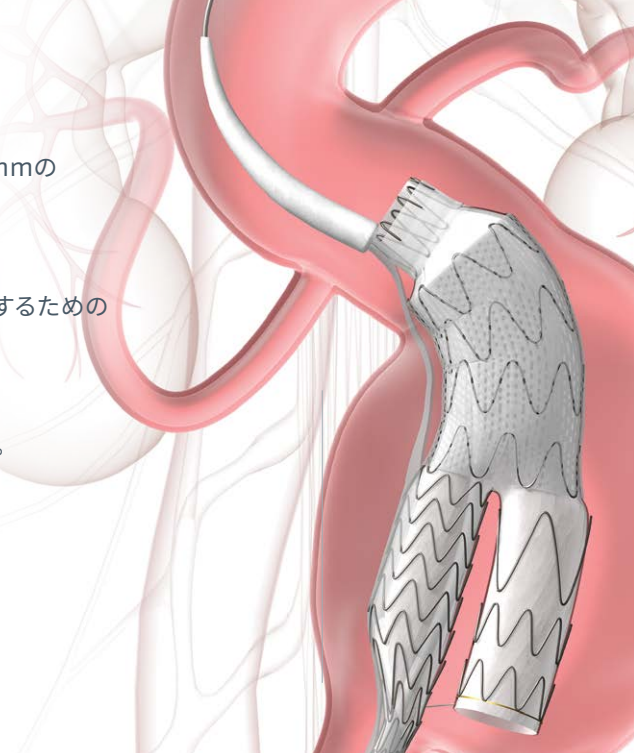
> 留置動画を見る



最大90度のネック角、ネック長10 mmの
大動脈ネックに適應を有する
唯一*のEVARデバイス。

難易度の高い解剖学的特徴に適應するための
コンフォーマブルデザイン。

再拘束、リポジショニングおよび
段階的な中極端の角度調整が可能。



米国治験 ネット角60–90度の患者群：1年フォローアップデータ†

97.9%

技術的成功率

Zero

報告数

Type IIIエンドリーク
マイグレーション
瘤破裂
ステントフラクチャー

98.9%

デバイスに関連する重篤な
有害事象の回避率

4例

Type I
エンドリーク‡

1例

オープン
コンバージョン§

1例

デバイスの
閉塞||

腹部大動脈瘤径の変化†

↓ 26 (34.7%)
5 mm以上の縮小

○ 48 (64.0%)
変化なし

↑ 1例 (1.3%)
5 mm以上の拡大

* 2025年9月時点。

† これらのデータポイントでは、91名の患者が1年後の結果分析の対象となっています。

‡ コアラボにより特定されたエンドリーク。Type Iエンドリークが発生した患者のうち3例は1年フォローアップ時に回復しており、1例は1年フォローアップ前に死亡が確認されましたが、デバイスとの関連はありませんでした。

§ 被験者は開腹による外科的修復術を受けましたが、ゴア® エクスクルーダー® コンフォーマブル AAAステントグラフトは抜去されず、この事象はデバイスまたは手技との関連性はないと判断されました。

|| オープンコンバージョンと同一の患者。

¶ 術後30日目に最も近く、遅くとも術後90日目までに撮影されたベースライン画像から特定された腹部大動脈瘤径の変化。

ゴア® エクスクルーダー® IBE

ADVANCES you can count on

内腸骨動脈の温存を可能にする
初の腸骨動脈分岐用デバイスです。
内腸骨動脈温存治療は、
生活の質を維持するために
推奨される治療法です¹⁻³。

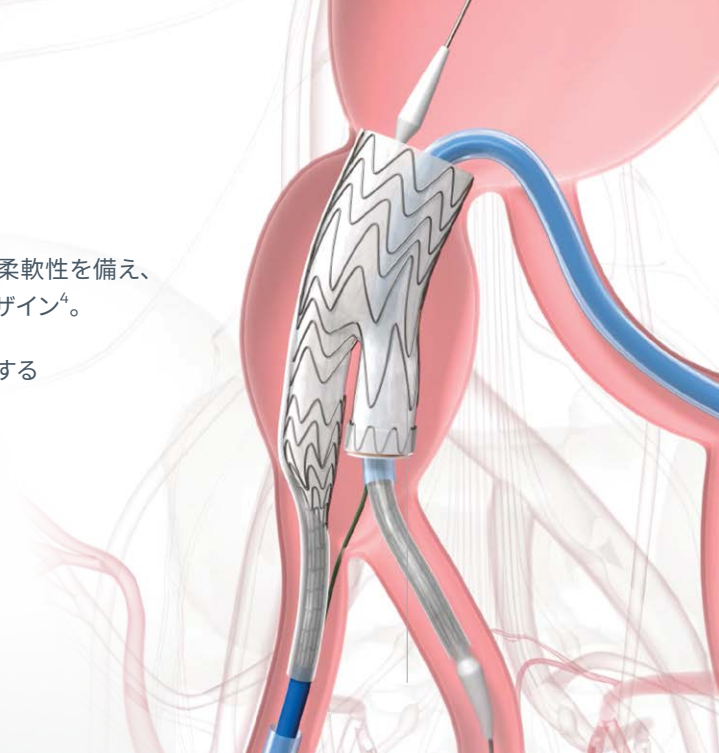
 [留置動画を見る](#)



幅広い治療選択肢により、
内腸骨動脈の温存が可能。

蛇行する腸骨動脈に適した柔軟性を備え、
耐キンク性も実証されたデザイン⁴。

血管へのアクセスを容易にする
ロープロファイル (16 Fr)。



米国治験：5年フォローアップデータ*

100%

開存率[†]

外腸骨動脈

95.2%

IBEに関連する
リインターベンション回避率

Zero

報告数

腎筋跛行[†]

勃起不全の新規発生

Type I / III エンドリーク[†]

マイグレーション[†]

95.1%

開存率[†]

内腸骨動脈

98.3%

総腸骨動脈瘤[†]の
拡大回避率[†]

* 米国 IDE 臨床試験。初回コホートでは63例に対しデバイスが留置されました。5年フォローアップを完了した患者は36例でした。

† 開存率、エンドリーク、マイグレーション、総腸骨動脈瘤の拡大 (5 mm 以上) はコアラゴにより判定されました。有効性主要評価項目に対し評価可能な結果が得られた被験者を分母としました。

‡ ゴア® エクスクルーダー® IBE で処置された例。

DESIGN and MATERIALS you can count on

ゴア® エクスクルーダー® インフラリーナルデバイスは、
耐久性を有する素材で設計されており、
必要な性能について検証されています。



25年

大動脈用デバイスとしての臨床実績



525,000例

世界中でインプラントされた患者数*



最も研究されている†

エクスクルーダー® インフラリーナルデバイス



1 インフラリーナルフィクセーション

– マイグレーションを防止するよう設計されたアンカーを腎動脈下に配置し、腎機能障害のリスクを軽減

2 シーリングカフ

– Type Iaエンドリークの抑制を目的としたシーリングカフを搭載

3 スーチャーレスグラフトアタッチメント

– 縫合系によるグラフト不全のリスクを排除するためのスーチャーレスデザイン

4 サイナソイダルステントデザイン

– 柔軟性を高め、長期にわたり開存性を維持するためのステントデザイン

5 独自のePTFEフィルムレイヤー

– 低透過性と耐摩耗性を実現するために設計された多層構造



* 2022年5月時点のトランクイブシラテラル・レッグ出荷本数ベース。

† clinicaltrials.gov に掲載されている、現在入手可能なステントグラフトに関する企業出資の臨床試験およびレジストリに基づく（2024年11月時点）。

References

1. Chaikof EL, Dalman RL, Eskandari MK, *et al.* The Society for Vascular Surgery practice guidelines on the care of patients with an abdominal aortic aneurysm. *Journal of Vascular Surgery* 2018;67(1):2-77.e2.
2. Moll FL, Powell JT, Fraedrich G, *et al.*; European Society for Vascular Surgery. Management of abdominal aortic aneurysms clinical practice guidelines of the European Society for Vascular Surgery. *European Journal of Vascular & Endovascular Surgery* 2011;41(Supplement 1):S1-S58.
3. Schneider DB. One-year U.S. results of GORE® EXCLUDER® Iliac Branched Endograft: Advantages and limitations. Presented at the 42nd Annual Symposium on Vascular and Endovascular Issues, Techniques, Horizons, (VEITHsymposium); November 17-21, 2015; New York, NY.
4. Simonte G, Parlani G, Farchioni L, *et al.* Lesson learned with the use of iliac branch devices: single centre 10 year experience in 157 consecutive procedures. *European Journal of Vascular & Endovascular Surgery* 2017;54(1):95-103.

「添文ナビ」アプリで電子添付文書をご参照ください

販売名：エクスクルーダー®Y字型ステントグラフトシステム

承認番号：21900BZY00011000

一般的名称：大動脈用ステントグラフト



メインボディ



レッグ等



IBE

販売名：ゴア®エクスクルーダー®コンフォーマブル AAAステントグラフトシステム

承認番号：30400BZX00077000

一般的名称：大動脈用ステントグラフト



メインボディ



アオルタ・エクステンダー

本資料は医療関係者向けです。それ以外の方への再配布はご遠慮ください。全ての禁忌、警告、使用上の注意および有害事象に関する詳細は電子化された添付文書（電子添文）を必ずご参照ください。

© 2025 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 無断転載・複製を禁じます。記載の商標は、Goreグループの関連会社または各権利者の商標です。

“Together, improving life”および記載のデザイン（ロゴ）は、Goreの商標です。 25AR3051-JA01 OCTOBER 2025

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 goremedical.com/jp

